

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

- a. 企業間の連携（オープンイノベーション、M&A等の事業承継支援 等）
コーヒー業界、および関連事業者の活性化にプライオリティを置き、事業活動を展開します。
- b. IT実装支援（共通EDIの構築、データの相互利用、IT人材の育成支援、サイバーセキュリティ対策の助言・支援 等）
帳票ベースではなく、電磁的記録での発注取引等を推進します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組めます。

① 価格決定方法

不合理な価格引下げ要請を行いません。仕入価格の決定に当たっては、仕入事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、販管費上昇分の影響を考慮するなど仕入事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。

② 手形などの支払条件

仕入代金は現金で支払います。

③ 働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、仕入事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない価格の設定、短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、仕入事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

④ 知的財産・ノウハウ

知的財産取引に関するガイドラインや契約書のひな形に基づいて取引を行い、片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

2022 年 10 月 14 日

長 江 株式会社
企 業 名

代表取締役 江 丹
役職・氏名（代表権を有する者）